

カリフラワー

担当者 技能研究員 藤井 健

試験課題名	新品種適応試験
目的	カリフラワーの和寒町に適応した品種を選定するために比較検討し普及に資する
期待される成果	高品質で生産が安定できる技術を習得し生産性の向上と収益の増加を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会一般野菜部会

1 供試品種・資材

品種

- ※ ①バロック(サカタ) ②雪まつり(武蔵野)
③パールホワイト(武蔵野) ④ピュアホワイト(武蔵野)
⑤美 星(サカタ)

※基準品種

2 耕種概要

土 質～埴壤土

前 作～夏秋キャベツ

播 種 日～5月23日

定 植 日～6月15日

収 穫 日～③④8月4日

②⑤8月11日

①8月18日

栽植密度～①②③④畦幅75cm×株間45cm 2,962株/10a当たり

⑤畦幅60cm×株間30cm 5,555株/10a当たり

3 土壌診断結果と施肥量

(1)土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
6.0	0.082	34.5	54.0	51.4	245	9.3

(2)土改資材と堆肥 (kg/10a)

炭カル～40kg 堆 肥～1,000kg

(3)施肥内容 (kg/10a)

基 肥～N S 6 0 4 (16 - 10 - 14) 6月14日 全層施肥

分 肥～S 4 4 4 (14 - 4 - 14) 7月5日 側条施肥

(4)肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K
基 肥	N S 6 0 4 80kg	12.8	8.0	11.2
分 肥	S 4 4 4 20kg	2.8	0.8	2.8
合 計		15.6	8.8	14.0

4 調査項目

生 育 調 査～播種日・発芽期・発芽率・定植日・定植時の苗質・出蕾期

生育(出蕾期)・収穫期・生育日数

収 量 調 査～平均花蕾重・粗収量・規格内収量・慣行比・規格別割合・病害虫

特 性 調 査～外観(形状・しまり・色・凹凸・花蕾の包葉)

5 生育調査

項目	品種	バロック	雪まつり	パールホワイト	ピュアホワイト	美星
播種日		5月23日				5月23日
発芽期		5月29日				5月30日
発芽率(%)		100	100	98	100	100
定植日		6月15日				6月15日
定植時の苗質	葉数(枚)	2.3	2.7	3.1	3.2	2.5
	苗の全長(cm)	12.5	14.7	13.9	14.2	10.6
出蕾期		8月10日	8月6日	7月29日	7月30日	8月5日
生育(出蕾期)	葉数(枚)	19.6	20.0	20.6	18.8	19.4
	葉長(cm)	57.6	49.6	52.4	48.0	40.2
収穫期		8月18日	8月11日	8月4日	8月4日	8月11日
生育日数		87日	80日	73日	73日	80日

6 収量調査

項目	品種	バロック	雪まつり	パールホワイト	ピュアホワイト	美星
粗収量(kg/10a)		5,154	6,365	4,850	4,092	5,633
規格内収量(kg/10a)		2,835	2,992	2,473	2,210	3,561
平均花蕾重(g/個)		957	1,010	835	746	641
慣行比(%)		100	105	87	78	125
規格別割合(%)	2L以上	60	80	20	10	0
	L	30	10	50	30	30
	M	10	10	0	10	50
	M未満	0	0	0	10	20
	規格外	0	0	30	40	0
病害虫(無0~4甚)		1	1	2	2	1

※規格 2L 800~1000g以上 L 650~799g
M 500~649g

7 特性調査

項目	品種	バロック	雪まつり	パールホワイト	ピュアホワイト	美星
外観	形状(良5~1不良)	3	4	2	1	3
	しまり(良5~1不良)	3	3	2	1	3
	色(良5~1不良)	3	3	3	3	3
	凹凸(良5~1不良)	3	2	3	2	4
	花蕾の包葉(良5~1不良)	3	3	3	3	3

8 防除歴

殺虫剤	7月4日 エルサン乳剤	1,000倍	7月21日 アディオン乳剤	2,000倍
	7月19日 エルサン乳剤	1,000倍		
殺菌剤	7月11日 ダコニール1000	1,000倍		

9 試験結果概要

(1) 生育経過

- ① 5月23日に128穴セル成型トレーに播種をし、美星以外は5月29日に発芽期をむかえ、美星は5月30日となった。発芽率は全品種90%以上と良好であった。
- ② 定植は6月15日に行った。
定植時の苗質は、葉数が3.0枚以上になったのがピュアホワイト・パールホワイトとなり、苗の全長で14.0cm以上が雪まつり・ピュアホワイトであった。
- ③ 出蕾期では、最も早かったのがパールホワイトの7月29日、それに続いてピュアホワイトの7月30日、美星の8月5日、雪まつりの8月6日、バロックの8月10日となった。
- ④ 出蕾期の生育調査では、葉数は全品種ほぼ20枚前後となり、葉長はバロックが57.6cmと最も大きく、雪まつり・パールホワイト・ピュアホワイトは50cm前後となり、小玉品種である美星は40.2cmであった。

(2) 収量調査

- ① 粗収量は雪まつりが6,365kgと最も高く、それに続いて美星>バロック>パールホワイト>ピュアホワイトの順になった。
- ② 規格内収量では、美星の3,561kgが最も高い結果となった。平均花蕾重では雪まつり1,010g、バロック957g、パールホワイト835g、ピュアホワイト746gとなり、小玉品種の美星は641gになった。
- ③ 規格別割合では、バロックと雪まつりが2L以上のサイズが大半を占めていたが、パールホワイトとピュアホワイトはL以下のサイズが多く、規格外も多かった。美星は2Lサイズと規格外がなく、Mサイズを中心とする割合となった。

(3) 特性調査

外観ではバロックを基準品種として、ピュアホワイトは形状としまりが1(良5~1不良)、凹凸が2となった。雪まつりの凹凸・パールホワイトの形状としまりも2となった。雪まつりの形状と美星の凹凸は4となり基準品種より優れた結果となった。

(4) 考察

基準品種のバロックに対して雪まつりは収量・外観からも高評価であった。小玉品種の美星も収量等全体的に基準品種よりは高い結果となり、この2品種は将来有望な品種の一つであると考えられる。

次年度に向けて18年は軟腐病の発生が多少あったので適期防除や、品質向上のため縛葉作業・収穫時期を見極め、適期管理作業に努めたい。